

愛称通りを歩く①

深川 資料館通り

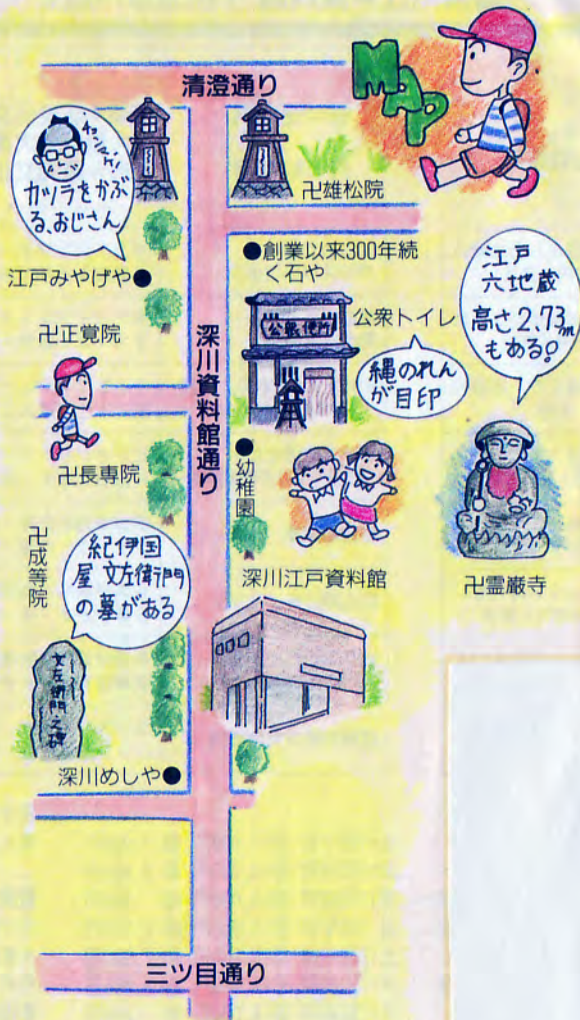
豆腐屋、佃煮屋など昔ながらの商店が立ち並び、いまなお下町情緒を残している「深川資料館通り」。清澄通りから三ツ目通りまでを東西に結んでいます。

以前は、通り沿いに区役所がありました。そのため区役所通りと呼ばれていました。昭和61年、跡地に深川江戸資料館が開館。江戸末期の佐賀町界隈を再現した展示が全国的に注目され、今日では深川名所として定着しています。4月27日(出)

5月12日(日)は地下レクホールで「江戸の風俗原画・三谷一馬展」を開催。

資料館の近くには縄暖簾のれんが掛かった公衆トイレがあり、一見、小料理屋と間違えてしまう外観。これは、町並みにマッチするようデザインされ、昭和61年に全国のグッドトイレに選ばれました。

この通りは、常夜灯をイメージした街灯とケヤキ並木が続きます。古い良き下町情緒をかし出していきます。



このほか、周辺の寺社には江戸の六地藏（霊巖寺）や紀伊国屋文左衛門の墓（成等院）などの史跡が残っています。

深川江戸資料館に始まり街灯、ケヤキ並木、そして江戸小物の土産物屋もあり「深川資料館通り」という愛称がつけられたのもうなずけます。